

I 事業の実施状況

公益財団法人河内長野市勤労者福祉サービスセンターは、中小企業で働く方々の福利厚生事業を実施しました。会員事業所の皆様方はもとより、市及び商工会など関係機関の協力・連携のもと、中小企業と大企業との福利厚生規模間格差の更正を目指し、勤労者福祉の向上と地域経済の振興・発展に寄与してまいりました。

令和5年度におきましても、中小企業を営む事業主及びその中小企業に勤務する勤労者等の多様なニーズに応えられるよう努めました。大阪府内の互助会・サービスセンターとの共同事業を増やし、イベント事業を活発化させ、福利厚生事業の充実と、働きやすい職場環境づくりを支援し、市内における勤労者福祉の拠点となるよう、「会員サービスの向上」「効率的・効果的な運営」が図られる組織体制の構築に取り組みました。

II 会員拡大の取組

1. 会員の状況

(1) 年度別状況表

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入会者数	116人	55人	57人
退会者数	49人	62人	57人
増減	67人	-7人	0人
年度末会員数	892人	885人	885人
年度末事業所数	190事業所	188事業所	178事業所

(2) 令和5年度月別入退会状況表

	入会		退会		累計	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数	事業所数	会員数
5年4月	1	25人	4	18人	185	892人
5月	0	7人	1	8人	184	891人
6月	0	3人	2	3人	182	891人
7月	0	4人	1	5人	181	890人
8月	0	7人	0	4人	181	893人
9月	0	1人	0	2人	181	892人
10月	0	1人	0	1人	181	892人
11月	0	1人	1	2人	180	891人
12月	0	2人	0	2人	180	891人
6年1月	0	1人	1	6人	179	886人
2月	0	4人	1	5人	178	885人
3月	0	1人	0	1人	178	885人
合計	1	57人	11	57人		

2. 広報活動

市内中小企業及び勤労者市民に対して、当サービスセンター事業の趣旨及び事業内容等について、広報活動を行った。

(1) ラークニュースの発行

事業内容の案内、斡旋等掲載の充実を図り、全ての会員に発送した。
発行部数として、年間12,000部を発行した。

(2) ライン公式アカウントの活用

ライン公式アカウントを活用し、会員へ事業案内等の周知を図った。

(3) 河内長野市商工会との連携

商工会が発行する「商工会報」に入会案内を掲載。

商工会会員あての郵送物に当サービスセンター入会案内を同封。

経営指導員による巡回、窓口指導、確定申告時の際に入会案内を行うことで会員増強に努めた。

3. 魅力ある福利厚生サービス事業の展開

新規提携先の開拓等、会員サービスのメニューの増加に努めた。

III 中小企業勤労者等の福利厚生事業

1. 生活安定事業 【事業費 9,401,773円】

(1) 慶弔給付事業

① (一社) 全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの全福ネット慶弔給付事業加入

中小企業単独では実施が難しい福利厚生事業について、低コストで充実した慶弔給付事業を実施できる(一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの全福ネット慶弔給付事業に加入した。

② 全福ネット慶弔給付事業

会員を対象に、(一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの全福ネット慶弔給付を活用し、各種祝金、弔慰金、見舞金(収益事業等は※3種類)の給付を行った。

給付項目	給付事由	金額(円)	件数(件)
結婚祝金※	会員が結婚したとき	20,000	7
結婚記念祝金※	銀婚祝(25周年)	10,000	9
	珊瑚婚祝(35周年)	20,000	3
	金婚祝(50周年)	30,000	2
子の出生祝金※	会員の子が出生したとき	10,000	8
子の就学祝金	子の小学校入学	10,000	19
	子の中学校入学	10,000	24
傷病休業見舞金	休業14日以上30日未満	10,000	3
	休業30日以上60日未満	20,000	12

重度障害見舞金	会員の重度障害(71歳未満)	100,000	1
	会員の重度障害(71歳以上)	50,000	0
後遺障害見舞金	会員の不慮の事故による後遺障害	4,000~100,000	0
死亡弔慰金	会員の死亡(71歳未満)	100,000	0
	会員の死亡(71歳以上)	50,000	3
	配偶者死亡	50,000	1
	子死亡	30,000	0
	親死亡	10,000	29
勤続祝金	勤続10年	10,000	25
	勤続20年	20,000	17
	勤続30年	20,000	16
	勤続40年	30,000	2
退会餞別金	在会 5年以上	5,000	6
	在会 10年以上	15,000	23
		合計	210

③ 平成20年度以前の旧慶弔給付事業(平成24年度制度改正に伴う経過措置)

給付項目	給付事由	金額(円)	件数(件)
退会餞別金	在会 3年以上	記念品	8
	在会 10年以上	20,000	3
	在会 15年以上	100,000	1
	在会 20年以上	200,000	10
		合計	22

④ 平成21年度以降の新慶弔給付事業(平成24年度制度改正に伴う経過措置)

給付項目	給付事由	金額(円)	件数(件)
退会餞別金	在会 3年以上	記念品	0
	在会 10年以上	20,000	1
	在会 15年以上	30,000	0
	在会 30年以上	100,000	0
		合計	1

(2) 物資斡旋事業

会員と家族に、家庭用常備薬等の斡旋を行った。

内容	斡旋件数
家庭用常備薬	38件
1事業合計	38件

(3) コロナウイルス禍対策事業

通信販売での企画商品の斡旋とPCR検査補助等を行った。

内 容	斡旋件数
通信販売での企画商品の斡旋	37件
1事業合計	37件

2. 老後生活安定事業

独立行政法人勤労者退職金共済機構と連携し、中小企業に働く従業員の老後生活の安定を図ることを目的とした退職金制度「中小企業退職金共済」等の案内加入斡旋を行った。

3. 余暇活動事業 【事業費 6,741,241円】

(1) レクリエーション事業

会員相互の親睦や、会員及びその家族とのふれあいを深めるため、映画、コンサート、スポーツ等のレクリエーション行事を行った。

① 文化鑑賞事業

ラブリーホールやチケットぴあ等を通じて、コンサート、スポーツ観戦、映画、美術館等、鑑賞券の一部補助を行った。

内 容	斡旋枚数
映画鑑賞券	350枚
美術館等鑑賞券	122枚
観劇事業（ラブリーホール、チケットぴあ等）	54枚
3事業合計	526枚

② レジャー施設利用助成事業

レジャー施設と法人契約、利用契約を結び、会員等の余暇活動の充実を図り、会員と家族には、一部利用補助を行った。

内 容	利用者数
東京ディズニーリゾート	62人
ナガシマスパーランド	20人
関西サイクルスポーツセンター	55人
3事業合計	137人

③ その他利用事業

チケット等の一部利用補助を行った。

内 容	斡旋枚数
QUOカード	115枚
ジェフグルメカード	640枚
トイカード	600枚

ミスタードーナツ商品券	150枚
風の湯利用券	800枚
サーティワンアイスクリームギフト券	200枚
KFCカード	14枚
吉野家プリカ	8枚
ユニクロギフトカード	128枚
えごまオイル	6個
大阪マリオット都ホテル	46枚
スターバックス カード	55枚
KOMECA	16枚
13事業合計	2,778枚

(2) 大阪府内互助会、サービスセンター共同事業

個々の互助会、サービスセンター単独では予算的人員的に実施が困難な事業や既存事業の更なる拡充を図るため、大阪府内20団体で構成されている「大阪地区勤労者福祉事業拡充委員会」(愛称:おおきにNet)に参画し、大阪府内で広域的な展開が見込めるサービス事業を実施した。

- ① おおきにNet参画団体が個別に契約しているサービス等を、各団体の会員が相互に共同利用できるようネットワークを構築した。また、割引共同利用店舗網のサービスの拡充を図った。
- ② マス釣り体験など多様な会員ニーズに応じたイベント事業を企画し、共同開催した。

内 容	利用者数
七月大歌舞伎&ホテルランチ特別プラン (実施日 7月8日・16日) 参加人数 115人	10人
ハーバリウムでオリジナル作品を作ろう! (実施日 7月30日) 参加人数 19人	4人
千早川マス釣り体験 (実施日 10月1日) 参加人数 80人	2人
オリジナルリースを作ろう! (実施日 12月3日) 参加人数 17人	2人
宝塚歌劇観劇と宝塚ホテルでの食事 (実施日 1月7日) 参加人数 90人	8人
ひな祭りニフレル朝の貸切見学 (実施日 3月2日) 参加人数 250人	9人
6事業合計	35人

- ③ 泉州地域（堺市、高石市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市）、河内地域（藤井寺市、富田林市、羽曳野市、河内長野市）の9市による連絡会議を実施し、南大阪地域に密着した情報の共有化と共同事業を行った。

内 容	利用者数
ひらかたパーク 合計人数 310人	81人
1事業合計	81人

- ④ Cブロック（藤井寺市、羽曳野市、富田林市、大阪狭山市、河内長野市）の5市による連絡会議を実施し、情報の共有化と共同事業を行った。

内 容	利用者数
大相撲三月場所観戦 （観戦日 3月10日） 参加人数 27人	15人
1事業合計	15人

4. 健康管理事業 【事業費 145,550円】

（一財）大阪労働協会と連携し、会員の健康維持増進を図るため、人間ドック、生活習慣病予防検診の補助を行うとともに、会員制スポーツクラブ等健康増進施設の利用等、健康管理に関する事業を行った。

内 容	利用者数
人間ドック補助（35歳以上）	23人
生活習慣病予防検診補助（35歳以上）	21人
スポーツクラブ利用券補助	10人
3事業合計	54人

5. 宿泊補助事業 【事業費 297,000円】

大手旅行会社、全国のホテル、旅館等と宿泊利用契約を結び、一部利用補助（会員3,000円年間1泊）を行い、会員等の余暇活動の充実を図った。また、（一財）大阪労働協会の福利厚生事業に加入し、契約宿泊施設の宿泊料金の一部補助を実施した。

内 容	利用者数
宿泊補助（年度内1泊）	99人

6. 自己啓発事業 【事業費 195,400円】

（1）勤労者のスキルアップ事業

ビジネスマナー教室などの講習会開催を他の互助会等と企画し、勤労者の職業能力向上を図った。

(2) 文化教養促進事業

文化教養の向上を目的とした通信講座やカルチャーセンター等の入会金、受講料の割引等を行った。

(3) その他事業

図書カードを会員と家族に一部利用補助を行い、一般より安価な価格で斡旋した。

内 容	斡旋枚数
図書カード	200枚

IV. 理事会・評議員会の開催状況

1. 理事会

会議名	案 件
第1回理事会	議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度収支決算報告について 議案第3号 定時評議員会の開催について 報告第1号 職務執行の報告について
第2回理事会	議案第4号 令和6年度事業計画について 議案第5号 令和6年度収支予算について 議案第6号 資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第7号 特定資産の取り崩しについて 報告第2号 職務執行の報告について

2. 評議員会

会議名	案 件
定時評議員会	議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度収支決算報告について 議案第3号 理事及び監事の選任について